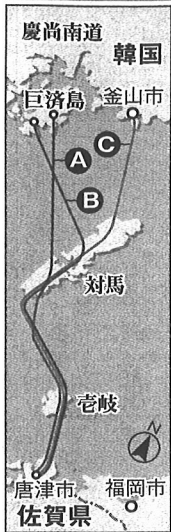


日韓海底トンネル構想

釜山 議論白熱



韓国・釜山市で九州北部と韓国南部をつなぐ日韓海底トンネル建設構想を巡る議論が白熱している。許南植市長が陣頭指揮をとり、国際シンポジウムや職員の研究会を相次いで開催。トンネルが釜山の将来に有益かどうかを焦点に論戦が展開されている。九州北部各県は「構想というよりまだ空想のレベルでは」と、対岸の性急な動きに当惑している。

国際シンポ・研究会相次ぐ

釜山市の外郭団体「釜山発展研究院」が5月14日、同市で開催した国際シンポでは、賛否が真っ向からぶつかった。

ホ・ジェワン中央大教授は「英仏をつなぐユーロトンネルの例を見ても、日韓トンネルが釜山の競争力を強化させるのは明らか」と主張。釜山発展研究院のホ・ユンス副研究委員は「釜山が付加価値の高い製品の物流基地になれば、トンネルの活用度は高まるが、釜山がそこまでの拠点都市になる可能性は低い」と述べた。日本から招待されたNPO「日韓トンネル研究会」の野沢太三会長(元法相)は

「夢あるが…」九州側静観

日韓海底トンネル建設構想 源流は1940年(昭和15年)、旧鉄道省が策定した東京から朝鮮半島を経由して北京まで走る「大陸横断弾丸列車計画」の一部にあたる「朝鮮海峡トンネル」。1983年5月に設立された日韓トンネル研究会(東京)は、佐賀県唐津市から釜山または慶尚南道・巨済島に至る3ルート案＝図＝をソウルの社団法人「韓日海底トンネル研究院」に提示。全長209～231キロで英仏間のユーロトンネル(50.5キロ)の4倍以上、青函トンネル(53.8キロ)を抜き世界最長となる。90年以降、海部俊樹首相や盧泰愚大統領(いずれも当時)ら首脳が未来構想として言及してきたが、①地質、地形調査が済んでいない②事業の採算性が不透明③北朝鮮問題など安全保障面の環境も整っていない――などの理由で政府間協議に至っていない。

「トンネルの利便性が最も強く及ぶ範囲は100～300キロの圏内。大都市・釜山を中心として活用すべきだ。日本では九州が最大受益地域になると指摘した。釜山市での議論は、許市長が2月の記者会見で、釜山市が当事者になる可能性があり、真剣に検討する必要がある」と表明して火がついた。市は、長崎県にト

ンネルに関する日本の報道を照会するなど情報収集も進め、市職員による研究会は4月13日に続き、今月8日にも開かれる予定だ。現地紙は、専門家の賛否両論を紹介する特集を組み、反対派市民が「釜山が単なる経由地に転落する」と集会やデモも繰り広げる騒ぎも起きている。

韓国では今年1月、年末の大統領選に一時出馬を取りざたされていた高建元首相が、対立候補の大型事業計画案に対抗して日韓海底トンネル建設を公約に掲げると報じられ話題となった。これまで議論の主導権を隣接する慶尚南道に握られていた経緯もあり、釜山市は「出遅れた危機感から

損得を見極める長期的研究に着手した」としている。これに対し、九州北部各県は、建設費が10兆円を超えるとも予想されることなどから、慎重姿勢を崩していない。

同研究会が示す3試案で日本側の出入り口となつていく佐賀県は「夢はあるが、財政負担が回ってくるなら話は別」(県土づくり本部)と静観の構え。福岡空港と博多港を抱え、すでに九州

読 賣 新 聞

2007年(平成19年)6月4日 月曜日

発行所
読売新聞西部本社
第15241号
〒810-8581
福岡市中央区赤坂1-16-5
電話 (092)715-4311(代)
http://www.yomiuri.co.jp/

きょうの紙面

総合	23	経済	7
国際	15		
気流	10		
運動	20 21 23 24		
家庭	27	12 15 16	
文化	27	小説	11
書・将棋	23	地域	33



日韓トンネル構想 釜山白熱 35
象牙の対日輸出解禁 215
孫文を支援 梅屋庄吉、上海で脚光 24
▷歌壇俳壇 26
優勝決定、ベンチを飛び出す早大の選手(左から2人日斎藤投手) 215